資料３

**広島市障害者計画〔2018-2023〕に掲げた事業・取組**

**主な事業・取組の実施状況等について**

**健康福祉局障害福祉部障害福祉課**

**【前計画の基本的な考え方】**

**１　計画の基本理念**

障害のある人もない人も、全ての市民が互いに人格と個性を尊重し、支え合い、自立しながら、暮らしと生きがい、地域を共に創る「まち」広島を実現する。

**２　計画実施に当たっての基本的な視点と重点項目**

⑴　障害者が、障害の有無によって分け隔てられることのないよう、社会的障壁の除去と合理的配慮の提供により、差別を解消する取組を推進する。

⇒重点項目：差別の解消と権利擁護の推進

⑵　障害者のライフステージに沿って、住み慣れた地域や生活の拠点において自立して暮らせるよう、地域包括ケアの体制整備を見据えて支援を充実する。

⇒重点項目：住み慣れた地域や生活の拠点での安心・安全な暮らしの確保

⑶　障害者を、必要な支援を受けながら自らの選択と決定に基づき、社会のあらゆる活動に参加する主体としてとらえ、活躍を支援する。

⇒重点項目：社会参加や就労による活躍の支援

**３　計画実施に当たっての6本の施策の柱**

⑴　虐待の防止・差別の解消と理解・交流の促進

⑵　安全・安心な生活環境整備の推進

⑶　相談支援の充実

⑷　地域生活支援の充実

⑸　発達支援と教育の充実

⑹　活躍支援の充実

**【主な事業・取組の実施状況等について】**

**⑴　虐待の防止・差別の解消と理解・交流の促進**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《拡》　障害者虐待防止事業 |
| 概要 | 障害者虐待防止の啓発に努めるとともに、障害者虐待防止センターに専門相談員を配置し、センターを中心に児童虐待防止等の関連部局や相談支援事業者等と連携した虐待防止等のための取組を実施。また、緊急一時保護のための居室を確保 |
| 令和5年度までの実績 | ・　障害者虐待防止の啓発に努めるとともに、障害者虐待通報ダイヤルを設置して  24時間・365日体制で通報を受け付け、相談・指導、一時保護を行った。  【虐待通報受付件数】  平成30年度：83件、平成31年度：93件、令和2年度：130件、  令和3年度：150件、令和4年度：187件、令和5年度：139件  ・　平成31年度から緊急一時保護事業を開始した。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　障害者差別解消法に基づく研修・啓発等の取組 |
| 概要 | 障害を理由とする差別の解消に向けて、本市職員等への研修の実施や、市政出前講座の実施、シンポジウムの開催等の啓発を実施 |
| 令和5年度までの実績 | ・　本市職員に対し、障害者の疑似体験研修会、障害者差別解消法等研修会及びにe-ラーニングによる研修を実施した。  ・　事業者を対象にユニバーサルマナーセミナーを開催した。  ・　市民を対象に障害者差別解消に向けたシンポジウムやパラリンピアンの講演会・車椅子バスケットボール体験会を実施した。  ・　市政出前講座を実施した。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　紛争の解決等のための障害者差別解消条例（仮称）の制定に向けた検討 |
| 概要 | 紛争の解決等のための障害者差別解消条例（仮称）の制定に向けて、国等との役割分担、他都市の状況等の調査や障害者から意見聴取を行い検討 |
| 令和5年度までの実績 | 障害を理由とする差別に関する相談対応や紛争解決のための審議会等の体制整備等を盛り込んだ広島市障害者差別解消推進条例を令和2年10月に施行した。 |

**⑵　安全・安心な生活環境整備の推進**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《拡》　避難行動要支援者の避難支援に係る取組の支援 |
| 概要 | 災害時に自力で避難することが困難な避難行動要支援者（高齢者や障害者等）の名簿を整備するとともに、避難行動要支援者のうち、名簿情報の外部提供に同意が得られた者のみを掲載した同意者リストを作成  同意者リストは、地域で避難支援に携わる避難支援等関係者（自主防災組織、町内会・自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、基幹相談支援センター等）に提供し、地域の実情に応じた避難支援に係る取組を支援  土砂災害や洪水などの危険区域に居住する避難行動要支援者宅等に防災行政無線屋内受信機を設置 |
| 令和5年度までの実績 | ・　災害時に自力で避難することが困難な避難行動要支援者（高齢者や障害者等）の名簿を整備するとともに、避難行動要支援者のうち、名簿情報の外部提供に同意が得られた者のみを記載した同意者リストを作成した。  ・　同意者リストを地域で避難支援に携わる避難支援等関係者（自主防災組織、町内会・自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、基幹相談支援センター等）に提供し、平時の声掛けや災害時の安否確認等に活用した。  ・　避難支援等関係者や福祉専門職等と連携・協力して、避難行動要支援者ごとに避難支援者や具体的な避難方法等を記載した個別避難計画の作成及び計画の実効性を高めるための取組を推進した。  ・　土砂災害警戒区域等に居住する避難行動要支援者世帯のうち、希望世帯に防災情報電話通知サービスの提供や防災行政無線屋内受信機の設置を行った。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《拡》　福祉避難所の設置 |
| 概要 | 災害が発生し、指定避難所での生活が長期化する場合、福祉的配慮が必要な障害者等が、安心して避難生活を送ることができるよう、車いす使用者等対応トイレやスロープ等の設置、専門的なケア体制などが整った福祉避難所の設置を推進 |
| 令和5年度までの実績 | ・　110施設と福祉避難所の協定を締結した（令和5年度末時点）。  （内訳：高齢者施設83、障害者施設20、特別支援学校3、大学3、病院1）  ・　協定施設に対して説明会を開催した。  ・　協定施設での避難訓練を実施した。  ・　福祉避難所への直接避難について具体的な要望があった際には、本人の状況等を踏まえ、個別に対応した。 |

**⑶　相談支援の充実**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　地域生活支援拠点の整備 |
| 概要 | 障害者の重度化・高齢化や親亡き後の生活を見据え、24時間対応可能な相談支援等を行うサービス拠点を整備 |
| 令和5年度までの実績 | 令和5年度に8区全てへの整備が完了した。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　重症心身障害児(者)相談支援事業 |
| 概要 | 生活上の困難さが著しい重症心身障害児(者)本人やその保護者を支援するため、専門職員による相談支援事業を実施するとともに、重症心身障害児(者)の保護者を相談員としてピアカウンセリングを実施 |
| 令和5年度までの実績 | 【重症心身障害児者相談支援事業所における相談支援件数】  平成30年度：2,093件、平成31年度：2,850件、令和2年度：2,122件、  令和3年度：1,679件、令和4年度：1,783件、令和5年度：1,764件 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 障害者110番運営事業 |
| 概要 | 「生命、身体侵害」「財産侵害、財産管理、相続」「金融、消費、雇用、契約」などに関する障害者の人権について、電話や面談で相談に対応（弁護士等による相談も実施） |
| 令和5年度までの実績 | 【相談受付件数】  平成30年度：205件、平成31年度：205件、令和2年度：195件、  令和3年度：219件、令和4年度：125件、令和5年度：142件 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 成年後見制度利用支援事業 |
| 概要 | 制度の普及、市長申立による支援や後見人等の報酬助成を実施。また、区役所等における相談、パンフレットの配布等を通じ、制度の普及・啓発を実施 |
| 令和5年度までの実績 | 【知的障害者】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（件）   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | 市長申立 | 3 | 3 | 6 | 2 | 5 | 6 | | 報酬助成 | 17 | 22 | 24 | 22 | 21 | 27 |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | 市長申立 | 1 | 4 | 10 | 11 | 6 | 5 | | 報酬助成 | 14 | 21 | 30 | 32 | 44 | 48 |   【精神障害者】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（件） |

**⑷　地域生活支援の充実**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　地域共生社会に向けた体制整備 |
| 概要 | 広島市地域福祉計画の策定、保健師地区担当制の強化など、障害者、高齢者、子ども等を地域において包括的に支援する体制を整備 |
| 令和5年度までの実績 | ・　令和6年3月に第2次広島市地域共生社会実現計画（地域福祉計画）を策定した。  ・　平成30年4月に東区役所において先行実施を行った区厚生部再編及び保健師地区担当制を令和2年4月に他の７区へ展開した。  ・　平成31年1月に、複雑化・複合化した地域住民の生活課題について、多機関の協働による解決に取り組むため、相談支援機関相互間の連携による支援の調整等を行う相談支援包括化推進員を4区（中区、安佐南区、南区、安芸区）へ配置した。  ・　障害者差別解消法及び条例の周知・啓発を行い、障害及び障害者への理解の促進を図った。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 障害者向けホームページ「広島市障害者支援情報提供サイト」の運営 |
| 概要 | 障害者団体の活動実績やイベント情報等、障害者の生活に関連する情報を提供するホームページ「広島市障害者支援情報提供サイト」を運営 |
| 令和5年度までの実績 | 令和5年度にWebサイト運用システムの改修に伴い、サイトのリニューアルを行った。  ・　登録団体数：60団体（令和5年度末時点）  ・　個人会員数：39名（令和5年度末時点） |

**⑸　発達支援と教育の充実**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 発達障害児早期発見・支援体制整備事業 |
| 概要 | 乳幼児期の支援の充実を図るため、1歳6か月児健康診査後の「親子教室」の開催や、「5歳児発達相談」を実施。また、市内の小児科や保育園・幼稚園等へ乳幼児期の子どもの成長・発達についての相談先案内用リーフレットを配布するとともに、小児科医療機関等と連携し、医師等を対象とした研修会を実施 |
| 令和5年度までの実績 | |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | 親子教室 | 77 | 78 | 37 | 45 | 78 | 83 | | 5歳児  発達相談 | 63 | 68 | 99 | 112 | 113 | 112 | | 研修会 | 3 | 3 | - | - | 3 | 3 |   【開催回数】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（回） |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　重症心身障害児（者）医療型短期入所事業 |
| 概要 | 舟入市民病院において医療的ケアが必要な重症心身障害児（者）を受け入れることができる短期入所を実施 |
| 令和5年度までの実績 | 平成28年7月に2床で開始し、令和4年10月に3床へ増床した。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 特別支援教育推進校における取組の推進 |
| 概要 | 幼稚園における園内の支援体制づくりに係る実践的な研究を実施。また、小・中学校においては、特別支援教育コーディネーターの専任化を図り、インクルーシブ教育システム構築に向けた校内の体制づくり等に係る実践的な研究を実施 |
| 令和5年度までの実績 | |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | 幼稚園 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |   【特別支援教育推進校】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（園）    【インクルーシブ教育システム構築実践指定校】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（校）   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | 小学校 | 6 | 8 | 10 | 11 | 9 | 9 | | 中学校 | 7 | 8 | 8 | 9 | 7 | 7 | |

**⑹　活躍支援の充実**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　国際大会等に参加する選手への支援の検討 |
| 概要 | 国際大会等に参加する選手への関係団体等との連携も含めた、競技力向上等の支援の方法等について検討 |
| 令和5年度までの実績 | 平成30年度から、各種障害者スポーツ大会へ出場する選手又はチームに対し、参加費用の一部を補助する制度を開始した。  【広島市障害者スポーツ大会出場費補助金交付実績】  平成30年度：22件　420,000円、平成31年度：22件　520,000円  令和2年度：2件　 20,000円、令和3年度：12件　120,000円  令和4年度：16件　445,150円、令和5年度：25件　622,000円 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 《新》　図書館での障害者向けサービスの提供 |
| 概要 | 図書館において、対面朗読の実施、録音図書及び関係機器の貸出並びに図書郵送貸出等を実施 |
| 令和5年度までの実績 | 【図書館での障害者向けサービスの提供内容】   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | 対面朗読  回数 | 329回 | 339回 | 247回 | 121回 | 84回 | 53回 | | 録音図書 貸出点数 | 993点 | 900点 | 842点 | 749点 | 922点 | 737点 | | デイジー図書  再生機 貸出件数 | 2件 | 2件 | 6件 | 8件 | 7件 | 2件 | | 図書郵送 貸出冊数 | 2,365冊 | 2,748冊 | 3,545冊 | 3,980冊 | 3,997冊 | 4,413冊 | | 大活字本 蔵書冊数 |  |  |  |  | 14,874冊 | 15,635冊 | | 布絵本 蔵書冊数 |  |  |  |  | 88冊 | 98冊 | | 点字・点訳本  蔵書冊数 |  |  |  |  | 984冊 | 877冊 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・取組 | 広島市就労支援センター事業 |
| 概要 | 製品開発研修会や展示即売会等の開催、「僕らのアトリエ」事業（協力店舗における展示・販売）のほか、市役所本庁舎における展示・販売等を実施するとともに、製品や施設等の情報をホームページに掲載 |
| 令和5年度までの実績 | 障害者のさらなる工賃向上を図るため、営業担当職員を２人配置し、企業等への営業活動を強化した。 |